

平成 24 年度 青少年健全育成地域活動推進事業

蒲郡市は、昭和 41 年 5 月に「青少年を守る都市宣言」を行って以来、家庭・学校・地域社会が一体となって、青少年健全育成市民運動を展開してきた。昭和 56・57 年度に当時の文部省および愛知県から小中学校生徒指導研究推進地域指定を受けたことから、各中学校区に青少年健全育成協議会を立ち上げ、学校主導で P T A を中心に非行防止の話し合いをする「ミニ集会」が誕生した。その輪は徐々に、地域主導、地域住民対象へと広がり、内容も健やかな子どもを育てるための多様な方法を試みる場として変化していった。

昭和から平成へ移るころには、子どもたちの社会体験・経験不足が叫ばれるようになり、ミニ集会は話し合い活動から清掃活動などの実践活動へと移行していった。平成 7 年ごろからは、「地域ふれあい活動」として、地域の実態を勘案し、様々な内容で行われるようになった。子どもたちの参加は増加したが、より参加意欲を高めるために企画の段階から中学生を取り込む地区が増えてきている。地域で活躍する中学生の姿を見て、小学生は次代の自分を思い描くとともに、地域の大人たちは子どもたちを見直す機会ともなっている。

毎年行われる「地域ふれあい活動」が、マンネリ化によって参加者の意識が低下しないようそれぞれの地域が内容等に趣向を凝らす努力がされている。この地域交流活動を契機に、一層地域の絆が強まっていくことが期待される。

1 子どもたちをめぐる問題

市内の子どもたちは、スポーツや文化・芸術、ボランティアなど様々な分野で生きがいを見出し活躍している。しかし、インターネットをはじめとするメディアの発達は、利便性は高めたものの、子どもたちの人とのコミュニケーション能力の低下をもたらし、円満な人間関係の樹立に影を投げかけている。市内においても、いじめ、不登校、ひきこもり等困難を抱える子どもたちがいることも忘れてはならない。

2 地域ふれあい活動の有用性

平成 22 年 10 月発行の国立青少年教育振興機構による「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」報告書によると、清掃活動、廃品回収、地域運動会といった地域活動により自尊心、共生感、意欲・関心、価値・規範意識、人間関係能力、勤労観・職業観、文化的作法・教養が育まるとされている。何より、地域の人々とともに活動することは、地域の大人たちから声を掛けられたり、励ましの言葉を受けたりする機会を増やし、自己有用感をもち地域の中で生きていることを実感できる子どもが増えることが期待できる。

また、いざという時に地域が互いに助け合い、勇気づけ合うことの大切さは、東日本大震災で再認識されたことである。こうした地域の絆を強める一助になることも期待できる。

青少年健全育成協議会・地域ふれあい活動一覧

1 健全育成協議会・準備運営会等

地 区	実 施 月 日	場 所	参加者数
1 大塚	4月26日(木)	大塚公民館	19
	5月24日(木)	大塚公民館	65
	2月14日(木)	大塚公民館	21
2 三谷	5月12日(土)	東部市民センター	47
	6月3日(日)	三谷中学校	131
3 蒲郡	4月20日(金)	蒲郡中学校	25
	5月30日(水)	蒲郡中学校	105
4 中部	4月27日(金)	中部中学校	57
	11月26日(月)	中部中学校	34
5 塩津	5月12日(土)	塩津中学校	95
	10月23日(火)	塩津小学校	81
6 形原	4月21日(土)	形原中学校	23
	5月20日(日)	形原中学校	149
	1月19日(土)	形原中学校	60
7 西浦	4月24日(火)	西浦中学校	30
	5月24日(木)	西浦公民館	60

2 地域ふれあい活動(ミニ集会・ミニ活動)

地 区	会場数	参加延べ人数	開催期間
1 大塚	4	2,050	6月18日 ~ 8月20日
2 三谷	6	1,200	6月17日 ~ 11月18日
3 蒲郡	6	3,705	5月20日 ~ 11月18日
4 中部	3	1,270	5月15日 ~ 10月23日
5 塩津	9	1,282	5月13日 ~ 9月9日
6 形原	11	2,048	6月16日 ~ 8月26日
7 西浦	5	395	6月24日 ~ 9月30日
計	44	11,950	